



自動梱包 + 送り状貼付システムで 「照合用バーコードレス」「薄型ダンボール対応」を実現

多品種少量化が進み、人手不足が叫ばれる物流センターにおいて、これまで人手に頼らざるを得なかった梱包・送り状貼付け作業の完全オートメーション化を実現しました。ランダムサイズにも対応し、業務の大幅な時短・省人化を図ります。また、照合用バーコード不要でズレない仕組み、送料削減の要である薄型段ボールへの対応も実現し、更なるコスト削減が可能になりました。

完全自動化 × 高精度 × ランダムサイズ × 薄型対応



完全自動化

通常1人が梱包・送り状貼付けを行うと30秒で1箱程度ですが、PaLS導入の場合、無人で最大1時間に720箱程度処理することができます。(箱サイズにより前後します。)



高い精度

納品書のバーコードを自動でスキャンし、納品書の情報とズレずに送り状を自動で貼り付けます。



ランダムサイズ

標準的な範囲内で、どんな箱サイズにも対応して自動で梱包が可能です。



高効率な梱包プロセスの構築

お客様のご要望に合わせ、最適なレイアウトを設計・ご提案いたします。



厚さ 2cm~10cm まで対応

送料削減の要である薄型段ボール(厚さ 2cmポストインサイズに対応)に対応出来るようになりました。



照合用バーコードレス

業界初の「照合用バーコードレス」 を実現しました

従来方式では、納品書と送り状を完全一致させるために、納品書番号と同じ照合用バーコードを箱の側面などに貼付け、送り状ラベル貼付後に照合していましたが、タクテック独自の技術開発により、不可能といわれていた「照合用バーコードレス」を実現しました。



大幅なスペース削減

従来の工程の中から、「出荷箱へ照合用バーコード貼付け」「照合用バーコードスキャン」「照合チェック」が省かれることで、従来機長の半分(約 10m が約 5m に短縮)で設置出来ます。



資材・消耗品の節約

照合用バーコードの資材が必要なくなるため、1日に5,000件出荷の場合、年間で約 100 万円の削減になります。

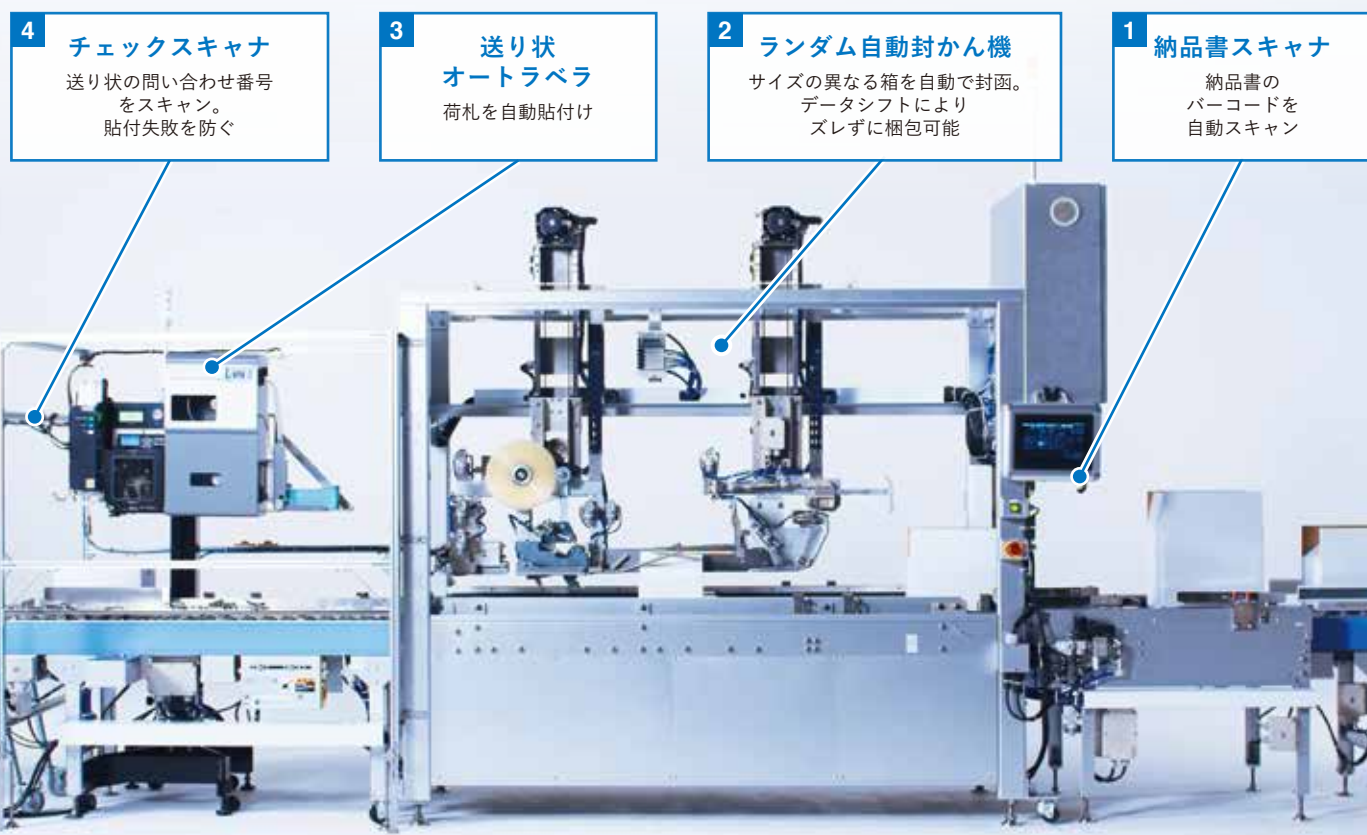


美観を損ねない

送り主にとっても受取人にとっても必要の無い照合用バーコードを箱に貼らないことで、美観を損ねません。

PaLS 概要

従来の PaLS は封かん機に入る前に照合用バーコードを貼り付ける必要がありましたが、封かん機内の搬送構造の改良により照合用バーコード不要で制御可能となりました。



導入効果

PaLS は、作業負担が多くミスの発生しやすい段ボールの封函・送り状貼付工程を全自動化するソリューションです。人による封函・送り状貼付工程は一般的に平均すると 60 秒で 1 箱、1 時間で 60 箱程度の生産性となります。PaLS は 1 時間に 720 箱の生産性ですので、約 12 人程度の省人化と送り状貼付ミスゼロ^{*}を実現します。 ※運用ルールを守っている限り、中身と送り状のズレが発生しない仕組みです。

PaLS 搬送物サイズ範囲

標準 PaLS 搬送物サイズ範囲

高さ 7.5cm~32cm

	MIN	MAX
長さ	240mm	500mm
幅	150mm	400mm
高さ	75mm	320mm

薄型 PaLS 搬送物サイズ範囲

高さ 2cm~10cm

	MIN	MAX
長さ	235mm	350mm
幅	160mm	250mm
高さ	20mm	100mm

